

地域再生プロジェクトの実施結果調書

市町村名	釧路市
------	-----

1 地域再生プロジェクト実施結果（プロジェクト全体）

（ 3年計画のうち3年目）

実施主体	市町村名：釧路市 民間団体名：社会福祉法人釧路のぞみ協会、NPO法人駆け込みシェルター釧路、釧路市社会福祉協議会、タクシー会社3社	計 1 市町村 6 団体
プロジェクト名	くしろ「ワーキング&コミュニティ」再生支援事業	格差の分野：地域経済の格差
地域重点プロジェクトとの関連性	<input type="checkbox"/> 該当 ◆地域重点プロジェクト名 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	◆主な取組 ○
地域の課題及び地域再生プロジェクトの目標	<p>◆ 地域の課題</p> <p>釧路市の有効求人倍率は過去3ヵ年平均でも0.44と、全国的にも低い。これら雇用環境の低迷は障がい者、母子世帯など社会的弱者の就業悪化を招き、全国的にも高い生活保護受給比率を呈している。特に母子世帯では移動割合は高いものの生活保護基準を下回っているのが顕著である。これら就業の不安定化が引いては、社会的弱者の孤立、健康不良化につながり社会保障費の増大を招くばかりではなく、児童養育放棄、虐待、不登校など、次世代人材育成にも深い影響を及ぼしている実態がある。これら課題の克服には雇用環境の改善もさることながら、就業過程に至るまでの行政、市民の協力など「地域コミュニティによる支え合い」が課題となっている。</p> <p>◆ プロジェクトの目標</p> <p>住み慣れたまちで、いつまでも暮らしていけるための「就労に係る新たな公共サービス」を地域住民、行政の協働により担うとともに、身近な公共空間などを活用し、当事者相互で「支え合うコミュニティ」の形成を図る。</p>	
取組の成果	<p>住民等の評価</p> <p>◎障がい者就労支援強化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がい者職場実習の実施により、新たな受け入れ企業の開拓や障がい者の雇用に対する啓発が行われた。 <p>◎母子就労支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 母子家庭の母の就労支援として、就労経験や社会経験が不足し、すぐに就労に結びつかない要支援の母を対象にしたあけぼのママースクールや、子育てや未就労等のため積極的に就労に結びつかない母を対象にステップ3までの就労セミナー（ウォーミングアップセミナー・パワーアップセミナー・企業研修セミナー）を開催。各事業を実施するにあたり移送手段等を持たない母子家庭の母に、移送サービスや託児サービスを提供した結果、あけぼのママースクールや就労セミナーへの積極的な参加があり、母たちの表情が如実に変化してきた。また、事業終了後のアンケート結果でも、就労への意欲が伝わってきている。 <p>計画に対する達成度</p> <p>◎障がい者就労支援強化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 職場実習受入企業12社（うち新規6社） 	

	<p>◎母子就労支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あけぼのママースクールは、要支援の母を対象にしていることから1回目の開催時には指導の困難性が感じられたが、回を重ねるごとに母たちの表情が変化し、積極的に参加するようになって来た。また、社会ルールの希薄さが改善されつつある。 ・企業体験セミナー参加者については、5日間の実習では少ないとのこと、再度、参加を希望する人もいた。資格取得を希望する人も多い。 <p>具体的な効果</p> <p>◎障がい者就労支援強化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場実習者41名 <p>◎母子就労支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あけぼのママースクールに戸惑いながら参加していた母たちが、就労セミナーに参加を希望し就労への意欲をみせるなど、積極的な社会参加につながるケースがあった。 ・就労セミナー終了後、就労に結びついたり、企業研修セミナーに参加し介護職に自分の適正を見出し、資格取得を希望するケースがあった。 ・就労セミナーを実施するにあたり、企業や関係法人、団体の理解が得られる等、関係団体間の連携が図られた。 	<p>交付金支援期間終了時の成果目標に対する現時点での達成状況</p> <p>◎施設入所障がい者の一般就労への移行拡大(成果目標15人→達成状況10人)</p> <p>◎被保護母子世帯の稼働率向上(成果目標54%→達成状況46%)</p>
<p>プロジェクト推進上の課題・問題点</p>	<p>課題点等</p> <p>◎障がい者就労支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の共有化(行政と企業など)、就労機会のマッチング、賃金の向上 <p>◎母子就労支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定した家庭環境の確保(衣食住、親子関係・世帯と地域との関係、収入、社会との帰属) <p>課題を踏まえた今後の展開</p> <p>◎障がい者就労支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労機会の創出 <ul style="list-style-type: none"> ・域内企業とのパイプ(情報共有、就労受入ルートなど)づくりに努め、庁内(経済系)連携により、企業の就労形態や職場環境の実態を把握しながら、就労機会を広げるためのマッチングに取り組んでいく。 ・就労への仕組み(試行的・部分的就労の検討) <ul style="list-style-type: none"> ・企業の理解と協力を得ながら、段階的な試行就労を設けつつ、障がい者の能力に応じた部分就労へつなげる等、就労への仕組みづくりの検討を行う。 ・賃金の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・道平均を下回っている市内の障がい者就労工賃の向上とその方策に資する企業との連携、工賃が確保できる事業創造等を検討する。 ・就労条件に対する支援・サポート <ul style="list-style-type: none"> ・就労条件(通勤距離・就労時間など)がハードルとなる様々な場合のサポートケースを整理し、支援メニューの検討を行う。 <p>◎母子就労支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活基盤力(習慣)の安定化と保護者(親)能力の醸成 <ul style="list-style-type: none"> ・衣食住の基盤を自立して行えるサポートを行いながら、母子関係の安定化(虐待の防止等)に介入が必要なケースを早期発見し、ケースに合わせた必要 	

な知識や行動等を支援していく予定。

- ・コミュニケーション力の育成

地域コミュニティ参加や働くために必要な基礎知識、対応能力等の育成を図る予定。

- ・就労体験等とおした就労意欲の向上

人手不足などの職種を中心に職場の紹介（就労支援が必要だった人の成功体験談など）を行うことで、自分の職業適性等を考える場づくりや、自ら就労できる気持ちの整理の場づくりを行う予定。

- ・資格取得の促進

資格取得によって主たる収入を確保できそうな職種の紹介（体験談等）を行うとともに、資格取得のためのサポートを行う予定。

2 地域再生プロジェクト構成事業

(1) 実績額について

(単位：千円)

No	事業名 実施主体名	実施 期間	年次	事業費	財 源 内 訳						交付金 要望額	
					国庫補 助金等	道補助 金 等	市町村補助等		市町村 自己財源	民間等 自己財源		その他
							補助金等	委託費				
1	障がい者就労支援強 化事業 市・企	20 ＼ 22	全体計画	3,528					3,528		3,517	
			初年度(20)	1,355				1,355		1,355		
			2年度目(21)	1,367				1,367		1,362		
			3年度目(22)	806				806		800		
2	あけぼのマミースク ール 市・企・住	20 ＼ 22	全体計画	2,026			461		1,565		2,026	
			初年度(20)	408			106		302		408	
			2年度目(21)	895			189		706		895	
			3年度目(22)	723			166		557		723	
3	母子就労ウォーミン グアップセミナー 住・企	20 ＼ 22	全体計画	1,060		750	266		44		997	
			初年度(20)	379		250	104		25		354	
			2年度目(21)	345		250	76		19		326	
			3年度目(22)	336		250	86				317	
4	母子就労パワーアッ プセミナー 市・企	20 ＼ 22	全体計画	2,992			346		2,646		2,992	
			初年度(20)	388			95		293		388	
			2年度目(21)	1,336			133		1,203		1,336	
			3年度目(22)	1,268			118		1,150		1,268	
5	母子就労企業研修セ ミナー 市・企	20 ＼ 22	全体計画	1,904			735		1,169		1,868	
			初年度(20)	395			142		253		395	
			2年度目(21)	817			372		445		781	
			3年度目(22)	692			221		471		692	
6	小学校跡を活用した 地域コミュニティ醸 成事業 市・公・住	20 ＼ 22	全体計画	53,555	26,614					26,941	0	
			初年度(20)	53,555	26,614					26,941	0	
			2年度目(21)	0								
			3年度目(22)	0								
計	事業数[6]		全体計画	65,065	26,614	750	1,808	8,957	26,941		11,400	
			初年度(20)	56,480	26,614	250	447	2,228	26,941		2,900	
			2年度目(21)	4,760		250	770	3,740			4,700	
			3年度目(22)	3,825		250	591	2,989			3,800	

注 1 プロジェクトを構成する全事業の実績について記載すること。

2 平成21年度以前の地域再生チャレンジ交付金で採択された地域再生プロジェクトは、計画期間に応じて「年次」最下欄に3年度目を追記すること。

3 「事業費」、「財源内訳」及び「交付金要望額」欄は実績額又は予定額を記載すること。

4 その他記載に当たっては、別記第2号様式に準じること。

(2) 実施内容について

No	事業名	計画内容	年次	実施状況	効果・課題	今後の展開
1	障がい者就労支援強化事業	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者職場実習 就労貢献企業の啓発 福祉的就労と企業ニーズのマッチング事業 	初年度(20)	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者就労貢献企業認定制度の制定 シンボルマークの公募 障害者支援施設情報の作成 障がい者雇用促進セミナーの開催 工賃倍増モデル事業の報告 	<ul style="list-style-type: none"> 就労貢献企業の認定 20件 シンボルマークの応募券数 251人 277件 セミナー参加者 約100名 一般就労への移行件数 21名 	<ul style="list-style-type: none"> 職場実習 就労貢献企業の啓発
			2年度目(21)	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者職場実習 広くくしろ記事掲載 障がい者支援施設情報の改訂作製 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者職場実習件数 238人/日 広くくしろ掲載 4回 	<ul style="list-style-type: none"> 一般雇用の移行 就労貢献企業の啓発、周知 授産製品の周知、販売拡大
			3年度目(22)	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者職場実習 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者職場実習件数 193人/日 	<ul style="list-style-type: none"> 一般雇用の移行
2	あけぼのママースクール	養育支援が必要な母親へ保育士による①基本的生活習慣の指導②育児指導③食事指導④社会参加のためのコミュニケーションの訓練を行う	初年度(20)	【開催回数】 12回 【参加延人数】 51名 【主なメニュー】 手縫いの中着作り、お茶会、おにぎりの作り方実習、絵本の読み聞かせ、わらべうた	【効果】 回を重ねるごとに参加者の表情も変わり、子への係わり、他参加者とのコミュニケーションの取り方にも成長が見られた 【課題】 どの段階で次のステップに進ませるかの判断	参加者のステップアップ(就労セミナーへの参加)
			2年度目(21)	【開催回数】 25回 【参加延人数】 123名 【主なメニュー】 手縫いのキーケース作り、エコ・アクリルタワシ作り、スイッチポンでできる簡単料理の作り方実習、お茶会、加工実習体験(ソーセージ、パン、バター作り)	【効果】 回を重ねるごとに参加者の表情も変わり、子への係わり、他参加者とのコミュニケーションの取り方にも成長が見られた 【課題】 卒業時期の見極め	参加者のレベルに合わせた教室の開催(ママースクール新入クラスと卒業クラスに分けて教室を開催するなど)
			3年度目(22)	【開催回数】 25回 【参加延人数】 115名 【主なメニュー】 簡単エプロン作り、簡単料理教室、絵手紙教室、クリスマスリース作り、マフラー編み、手作りおひなさま、加工実習体験(ロールケーキ・たまごボーロ)	【効果】 回を重ねるごとに参加者の表情も変わり、子への係わり、他参加者とのコミュニケーションの取り方にも成長が見られ、礼儀作法も身につけてきている 【課題】 どこの段階で卒業とするかの見極めが難しい	参加者のレベルに合わせた教室の開催(ママースクール新入クラスと卒業クラスに分けて教室を開催するなど)

No	事業名	計画内容	年次	実施状況	効果・課題	今後の展開
3	母子就労ウォーミングアップセミナー	就労への第一歩として外へ出るきっかけ作りに、覚えておくに役立つ基本的な事柄をテーマに5日間の講座を開催。 NPO法人駆け込みシェルター釧路が市の補助金を受け実施	初年度(20)	【開催日】9月17日～9月21日 【参加延人数】92名 【カリキュラム】 カラーコーディネイト、(自分に似合う色)、ストレッチ体操、メイクアップ教室、(セルフメイクレッスン)、パソコン教室(2日間)	【効果】 比較的参加しやすいメニューのため予定を上回る参加希望があり、外へ出るきっかけ作りとなった 【課題】 パソコン教室については、個々の習得状況の違いが大きかったことから実習方法についての検討が必要	引き続きNPO法人駆け込みシェルター釧路が就労に向けたコーディネート事業を実施
			2年度目(21)	【開催日】9月9日～9月16日 【参加延人数】59名 【カリキュラム】 カラーコーディネイト、(自分に似合う色)、ストレッチ体操、メイクアップ教室、(セルフメイクレッスン)、パソコン教室(3日間)	【効果】 比較的参加しやすいメニューのため、外へ出るきっかけ作りとなった 【課題】 参加者を増やすためにカリキュラムの工夫が必要	引き続きNPO法人駆け込みシェルター釧路が就労に向けたコーディネート事業を実施
			3年度目(22)	開催日】9月7日～9月11日 【参加延人数】65名 【カリキュラム】 カラーコーディネイト、(自分に似合う色)、ストレッチ体操、メイクアップ教室、(セルフメイクレッスン)、パソコン教室(3日間)	【効果】 比較的参加しやすいメニューのため、外へ出るきっかけ作りとなった 【課題】 今後カリキュラムの工夫が必要	引き続きNPO法人駆け込みシェルター釧路が就労に向けたコーディネート事業を実施
4	母子就労パワーアップセミナー	就職試験や就職活動に役立つ実践的な事柄をテーマに5日間の講座を開催。 パワーアップセミナー参加者へのフォローアップとして資格取得を目指す母の学習環境を整えるために『お母さんの自習室』を開設	初年度(20)	【開催日】9月29日～10月3日 【参加延人数】72名 【カリキュラム】 自己分析、(エゴグラム診断)、ビジネスマナーⅠ、(敬語の使い方、聞き方、話し方)、ビジネスマナーⅡ、(電話対応)、履歴書(職務経歴書の作り方)、面接対策(第一印象の大切さ)	【効果】 5日間継続してのセミナー参加により、達成感が大きく、面接への自信、就労への意欲も感じ取れた 【課題】 実践が少なく受身型の講習内容	ワークショップ型の講習を増やすことで、更に面接や就職活動への自信をつける

No	事業名	計画内容	年次	実施状況	効果・課題	今後の展開
			2年度目 (21)	<p>○パワーアップセミナー 【開催日】9月28日～10月2日 【参加延人数】50名 【カリキュラム】 自己分析、(エゴグラム診断)、ビジネスマナーⅠ、(敬語の使い方、聞き方、話し方)、ビジネスマナーⅡ、(電話対応、一般的なマナー)、履歴書(職務経歴書の作り方)、面接対策(第一印象の大切さ、みだしなみ、おじぎの基本動作) ○お母さんの自習室 【開設回数】 30回 【利用者数】 90名 【登録者数】 13名 ※高等看護学院等合格者2名</p>	<p>○パワーアップセミナー 【効果】 5日間継続してのセミナー参加により、達成感が大きく、面接への自信、就労への意欲も感じ取れた 【課題】 参加者の次へのステップアップ ○お母さんの自習室 【効果】 同じ目的を持った母が集まったことから、情報交換の場となり、お互いに励ましあいながら勉強ができた 【課題】 就労している母が利用できない</p>	<p>○パワーアップセミナー 企業体験セミナーへの参加や資格取得への働きかけを行う ○お母さんの自習室 就労している母も利用できるような開設時間等の設定について検討</p>
			3年度目 (22)	<p>○パワーアップセミナー 【開催日】9月13日～9月17日 【参加延人数】76名 【カリキュラム】 自己分析、(エゴグラム診断)、ビジネスマナーⅠ、(敬語の使い方、聞き方、話し方)、ビジネスマナーⅡ、(電話対応、一般的なマナー)、履歴書(職務経歴書の作り方)、面接対策(第一印象の大切さ、みだしなみ、おじぎの基本動作) ○お母さんの自習室 【開設回数】 44回 【利用者数】 131名 【登録者数】 15名 ※高等看護学院等合格者1名 ※医師会看護専門学校合格者1名</p>	<p>○パワーアップセミナー 【効果】 5日間継続してのセミナー参加により、達成感が大きく、面接への自信、就労への意欲も感じ取れた 【課題】 参加者の次へのステップアップ ○お母さんの自習室 【効果】 同じ目的を持った母が集まったことから、情報交換の場となり、お互いに励ましあいながら勉強ができた 【課題】 就労している母が利用できない</p>	<p>○パワーアップセミナー ・企業体験セミナーへの参加や資格取得への働きかけを行う ○お母さんの自習室 開設時間等の設定について検討</p>
5	母子就労企業体験セミナー	<p>職業意識の向上や未経験の仕事の適正を見極める目的で一般企業等での体験セミナーを開催 在宅ワーク、副業、内職など家庭で出来る仕事に就くための技能修得を支援する</p>	初年度 (20)	<p>【開催日】1月26日～1月30日 【参加延人数】26名 【実習先】 ほしがうらでい-びセンター てつほくでい-びセンター ぼうようでい-びセンター</p>	<p>【効果】 未経験の仕事の適正を見極めることができ、資格取得や就労先を探すうえでの自信となる 【課題】 開催時期や回数の見直し、職種の開拓</p>	<p>・段階を追ってのセミナー参加者のみではなく、資格取得、就職先を迷っている者にも参加を働きかけ、希望者の随時受入れを目指す ・実習受入れ企業の開拓</p>

No	事業名	計画内容	年次	実施状況	効果・課題	今後の展開
			2年度目 (21)	【開催日】 ①7月13日～7月17日 ②11月16日～11月20日 ③1月25日～1月29日 【参加延人数】 50名 【実習先】 ほしがうらでいびセンター てつほくでいびセンター ぼうようでいびセンター	【効果】 未経験の仕事の適正を見極めることができ、資格取得や就労先を探すうえでの自信となる 【課題】 1回あたりの受入れ期間を5日間と設定しているが、慣れた頃に実習が終了となる	<ul style="list-style-type: none"> ・1回の受入れ期間を5日間と設定しているが、希望者には長期間の受入れも検討する。 ・パンフレットの配布等により更に実習受入れ企業の開拓を行う
			3年度目 (22)	【開催日】 ①10月4日～10月8日 ②2月14日～2月18日 【参加延人数】 35名 【実習先】 ほしがうらでいびセンター てつほくでいびセンター ぼうようでいびセンター 【開催日】 ①3月2日 ②3月9日 【参加延人数】 11名 【カリキュラム】 ミシンの使い方、衣類のリフォーム	○企業体験セミナー 【効果】 未経験の仕事の適正を見極めることができ、資格取得や就労先を探すうえでの自信となる 【課題】 職種の開拓 ○そーいんぐ 【効果】 在宅でもできる仕事の習得につながる。 【課題】 初めての事業で参加者が少なかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットの配布等により更に実習受入れ企業の開拓を行う ・開催回数を増やす。
6	小学校跡を活用した地域コミュニティ醸成事業	地域交流と活性化に取り組む市民団体が公的なサービス提供を行うため、学校跡空間を使用し、「コミュニティビジネス」など地域高齢者や障がい者の雇用拡大や子育て世代を支援するコミュニティサービスを行う。	初年度 (20)	【竣工】 1月26日～30日 【入居団体】 消防団、シルバー人材センター、NPO法人こぶし作業所、おもちゃライブラリー	【効果】 学校統廃合による旧校舎を地域コミュニティに資する団体利用のための施設として活用を図ることにより、地域の活性化を図ることができる。 【課題】 自主的な運営方法による円滑な管理	各団体のテーマコミュニティの醸成と団体連携による新たな事業の展開
			2年度目 (21)			
			3年度目 (22)			

- 注 1 (1)に記載した番号に対応する事業について、プロジェクトの期間を通じて、実施状況及び効果や課題を踏まえた今後の事業展開を記載すること。
 2 平成21年度以前の地域再生チャレンジ交付金で採択された地域再生プロジェクトは、計画期間に応じて「年次」最下欄に3年度目を追記すること。